

日本筑波大学对外日语教育研究会 编

实用句型日语教程

北京出版社



日本筑波大学对外日语教育研究会编

实用句型日语教程

张大诚 沈国威 编译

北 京 出 版 社

(京)新登字200号

实 用 句 型 日 语 教 程

ShiyongJuxingRiyuJiaocheng

日本筑波大学对外日语教育研究会编

张大诚 沈国威 编译

*

北 京 出 版 社 出 版

(北京北三环中路6号)

邮政编码 100011

北 京 出 版 社 总 发 行

新华书店北京发行所经销

北京朝阳展望印刷厂印刷

850×1168毫米 32开本 19.125印张 365000字

1986年5月第1版

1992年12月第3次印刷

印数 14 101—18 100

*

ISBN 7-200-00211-9/H·17

定 价: 8.70 元

前 言

本书是日本筑波大学对外日语教育研究会编写的中级日语教材『日本語表現文型』的编译本。已经学完日语入门课程的学习者可以利用本书进一步提高自己的日语水平。

「表現文型」似可以译成“功能句型”，它说明本书是按功能大纲编写的。功能大纲的主要特点在于：把语言教学放在特定的交际情景之中，并使之围绕某一交际意图展开，因此它更注重培养、提高学习者的外语实际运用能力。在语言交际过程中，有几个经常性的因素在左右着语言的实际形态。即：交际场合（时间、地点、环境、气氛等）；交际各方的情况（性别、年龄、职业、社会地位等）以及他们之间的相互关系（家人、亲戚、同事、朋友、师生、上下级）；交际意图（问讯、请求、说明、交换意见等）。

在日语中，交际场合的不同使语言有简慢、亲昵、庄重等语体之分；交际各方的情况要求说话者正确地使用敬语；交际意图常导致许多日语特有的委婉表达方式。这些都是初学日语的人常遇到的难点。本书以“功能句型”为主线，在解决这些问题上都做了有益的尝试，与传统的结构教材比较具有许多突出的特点。目前按功能大纲编写的日语教材在国内外尚不多见。

本书按不同的交际意图分为二十一个单元（其中十九、二十单元为同一交际意图），每个单元由浅入深，依序按口语体短文、情景对话、书面语小文章及句型语法整理和练习等部分组成。课文大都直接取材于近年日本的报章杂志，未加改动，而且内容广泛，政治、经济、文化等各方面均有涉及。句型语法整理部分的侧重点在于同义、近义句型的辨析。用丰富的实例说明句型的用

法及近义表达方式之间的微妙区别。

为了方便我国读者，我们在编译时做了如下工作：

1. 对课文的难点、较特殊的习惯说法进行了简单的注释。注释的难易程度按东京外国语大学附属日本語学校编『日本語』Ⅱ掌握。
2. 整理了单词表，删除了复出或常见的初级教材中已出的词汇，加了中文释义和单词重音。
3. 对句型语法部分加了译文。

此外，本书后附有课文的参考译文、练习答案（其中部分思考题从略）和总词汇表，供学习者利用。

本书编译过程中承蒙日本友人热情帮助，在此谨致谢意，并期待着广大读者的批评、指教。

编译者

一九八五年九月

目 录

前 言	1
第一課 名・分類・定義	1
第二課 存在・位置	17
第三課 存在・数量	46
第四課 移動	60
第五課 変化	74
第六課 過程・推移・経過	94
第七課 時の表現	110
第八課 要求・依頼・命令	139
第九課 希望・願望	160
第十課 意志	180
第十一課 申し出・勧め・誘い	199
第十二課 類似・比況・比喻	223
第十三課 比較	243
第十四課 程度	256
第十五課 対比	267
第十六課 伝聞	277
第十七課 予想・予感・徴候	307
第十八課 予想・期待の実現と非実現	334
第十九課 原因・理由（Ⅰ）	352
第二十課 原因・理由（Ⅱ）	380
第二十一課 逆接	414
附录一 练习答案	436

附录二	参考译文	511
附录三	总生词表	578

第一課 名・分類・定義

1

これは日本の雑誌です。

この雑誌は毎月一回出ます。

雑誌のなかで、毎月一回出る雑誌を月刊誌 といいます。

これは「文学」という月刊誌です。

これは「サンデー朝日^{あさひ}」といって、週刊誌です。

週刊誌というのは、毎週一回出る雑誌のことです。

これは「季刊民族学」という雑誌です。

季刊というのは、季節ごとに、つまり、一年に四回出るという意味です。

2

日本の本は、ふつう、最後のページに、その本を書いた人、つまり、著者の名前や、発行所の名前や、発行された日付などが書いてあります。

このページを「奥付^{おくづけ}」といいます。

著者は松本清張^{まつもとせいちょう}という人で、発行所は中央公論社という出版社です。発行年月日は、昭和36年9月30日で

随筆 黒い手帖 ② 1961 定価 280 円
 昭和 36 年 9 月 25 日印刷 昭和 36 年 9 月 30 日発行
 著者 松本清張 発行者 栗本和夫 印刷者 山元正宜
 発行所 中央公論社 東京・京橋2-1 振替・東京34 三光印刷 小泉製本

	古	都
定価 240 円		
新潮文庫 草 1 = 21		
著者 昭和四十二年八月二十五日 発行 昭和五十五年九月五日 三十五刷	発行者 株式會社 新潮社 郵便番号 一六二 東京市新宿区矢野町七一 電話 東京部 〇三(二六六)五二二一 編集部 〇三(二六六)五四二一 紙背 東京部 四一八〇八番	著者 佐藤 亮一 川口 端孝 藤田 成

◎ 印刷・株式会社光臨 製本・東京堂製本株式会社
◎ Hideto Kawasumi 1968 Printed in Japan

す。発行年月日というのは、発行された年，月，日のことです。奥付には、たいいてい発行されたときの値段も書いてあります。ここに定価 280 円と書いてありますね。これが発行されたときの値段です。

4

(書店で)

A 「『自然』という本を注文したいのですが。」

B 「雑誌ですか。」

A 「そうです。月刊誌です。」

B 「発行所はどこですか。」

A 「中央公論社です。」

B 「今月号だけですか。定期購読ですか。」

A 「「定期購読」というのは何のことですか。」

B 「毎月、たとえば一年間続けて買うということです。」

A 「じゃ、定期購読します。」

B 「何月号からお入り用ですか。」

A 「今月号からほしいです。」

5

(書店で)

A 「『日本の^{ぶっきょう}仏教』という本がほしいのですが。」

- B 「雑誌ですか，単行本ですか。」
- A 「「たんこうぼん」というのは何のことか分かりませんが，雑誌ではありません。ふつうの本です。」
- B 「著者はだれですか。」
- A 「「ちょしゃ」というのは何のことですか。」
- B 「その本を書いた人，ということです。」
- A 「ああそうですか。著者は^{わたなべ}渡辺しょうこうという人です。」

6

(大学の事務室で)

- A 「わたしは今度入学した留学生です。よろしくおねがいします。」
- B 「お名まえは。」
- A 「スジュアルタともうします。」
- B 「お国はどちらですか。」
- A 「インドネシアです。」
- B 「国費留学生ですか，私費留学生ですか。」
- A 「それは何のことですか。」
- B 「国費留学生というのは，日本の文部省の奨学金をもらっている留学生のことで，私費留学生というのは，自分のお金で留学している学生のことです。」
- A 「ああ，そうですか。わたしは国費留学生です。」

B 「学生証を発行しますから、この紙に必要なことを記入してください。

ここに氏名，名まえですね。そして，ここに国籍，あなたの国を書いてください。」

A 「これは何のことですか。」

B 「それは^{せいねんがっぴ}生年月日と読みます。生年月日というのは，^{とし}生まれた年，^{つき}月，^ひ日，のことです。

ここに現住所，つまり現在，いま，住んでいる所を書いてください。」

7

A 「英語の modern period は，日本語で，「近代」といったり「現代」といったり，また「近世」といったりしますね。どちらがうのですか。」

B 「歴史の時代の分けかたは，学者によってちがいますが，だいたい，1868年の明治維新のまえ300年ぐらいを「近世」，明治以後第二次世界大戦までを「近代」，戦後を「現代」とするのがふつうです。」

A 「そうすると，「近世」というのと，「江戸時代」^{えどじだい}というのと，同じですか。」

B 「まあ，だいたいそう考えていいでしょう。」

日本歴史の時代区分では、ふつう、原始時代、古代、中世、近世、近代、現代というふうに分ける。

中国の歴史書によると、2, 3世紀ごろ、北九洲に多くの小さい国があったことが知られるが、4世紀になって、大和^{やまと}朝廷^{てうてい}が近畿^{きんき}地方を中心に、ほぼ、日本全国を統一した。この時代から奈良に首都があった奈良時代(8世紀), 京都^{きょうと}に首都がうつってから12世紀のおわりごろまでの平安時代を合わせて「古代」という。それから16世紀のおわりごろまでが「中世」である。「近世」というのは、だいたい徳川氏^{とくがわし}が幕府^{ばくふ}を江戸^{えど}(今の東京)においていた「江戸時代」のことをいい、1868年の明治維新で徳川幕府がたおれて、近代的な資本主義国家ができてからを「近代」という。「現代」というのは、第二次大戦後をさすのがふつうである。

【新出語句】

1

ざっし
雑誌
げっかんし
月刊誌
きかん
季刊
きせつ
季節
かんこう
刊行

- | | |
|----------|---------|
| ① (名) | 杂志 |
| ③ (名) | 月刊杂志 |
| ① (名) | 季刊 |
| ②① (名) | 季节 |
| ① (名・他サ) | 印刷出版、发行 |

民族学
民俗学

④ (名)

民族学

④ (名)

民俗学

2

最後
最初
最高
発行
著者
著書
日付

① (名)

最后

⑥ (名・副)

最初、开始

⑥ (名)

最高

⑥ (名・他サ)

发行

① (名)

著者、作者

① (名)

著述、著作

⑥ (名)

(出版物、文件等上的) 日期

・年月日

奥付

⑥④ (名)

底页、版权页

3

手帖
たいてい
値段
定価

⑥ (名)

小笔记本、杂记本

⑥ (副)

普通、一般、大体上

⑥ (名)

价格、价钱、行市

⑥ (名)

定价

4

書店
自然
注文
定期購読
お入り用
要る
今月号
×月号
たとえば
続ける

⑥① (名)

书店

⑥ (名・形动)

自然，大自然，自然地

⑥ (名・他サ)

定，订购，定货

④ (组)

定期订阅

⑥ (名・形动)

需要，费用，开支

⑥ (自五)

要，需要，必要

⑤ (组)

本月号

(组)

某月号

② (副)

例如，譬如

⑥ (他下一)

连续，继续，连接

5

仏教
キリスト教

①③ (名)

佛教

⑥ (名)

基督教

かいきょう
回教

①① (名)

回教, 伊斯兰教

6

こんど
今度

① (名・副)

这一次、这回：下一次，
以后

こくひ
国費

① (名)

公费，国家负担的费用

しひ
私費

② (名)

自费，私费

しょうがくきん
奨学金

③ (名)

奖学金，助学金

がくせいしょう
学生証

④ (名)

学生证

きにゅう
記入

⑤ (名・他サ)

记上，填上，写上

こくせき
国籍

⑥ (名)

国籍

しめい
氏名

⑦ (名)

姓名

みょうじ
苗字

⑧ (名)

姓

なまえ
名前

⑨ (名)

姓名、名字、名称

げんじゅうしょ
現住所

⑩ (名)

现住所

7

きんだい
近代

① (名)

近代，现代

げんだい
現代

② (名)

现代

きんせい
近世

③ (名)

近世，近代（通常指江戸时代）

だいたい
時代

④ (名・副)

大致，大体上，大略

じだい
時代

⑤ (名)

时代，年代

めいじいしん
明治維新

⑥ (组)

明治维新

えど
江戸

⑦ (名)

江戸（东京的旧称）

8

くぶん
区分

① (名・他サ)

分类、划分、区别开

せいき
世紀

② (名)

世纪，年代、时代

やまと
大和

③ (名)

日本古时的国名（今属奈良县）；日本的别称

ほぼ
朝廷

④ (副)

大致，大概，大略

ちやうてい
朝廷

⑤ (名)

朝廷

とういつ
統一

⑥ (名・他サ)

统一

幕府

置く

さす (指す)

① (名)

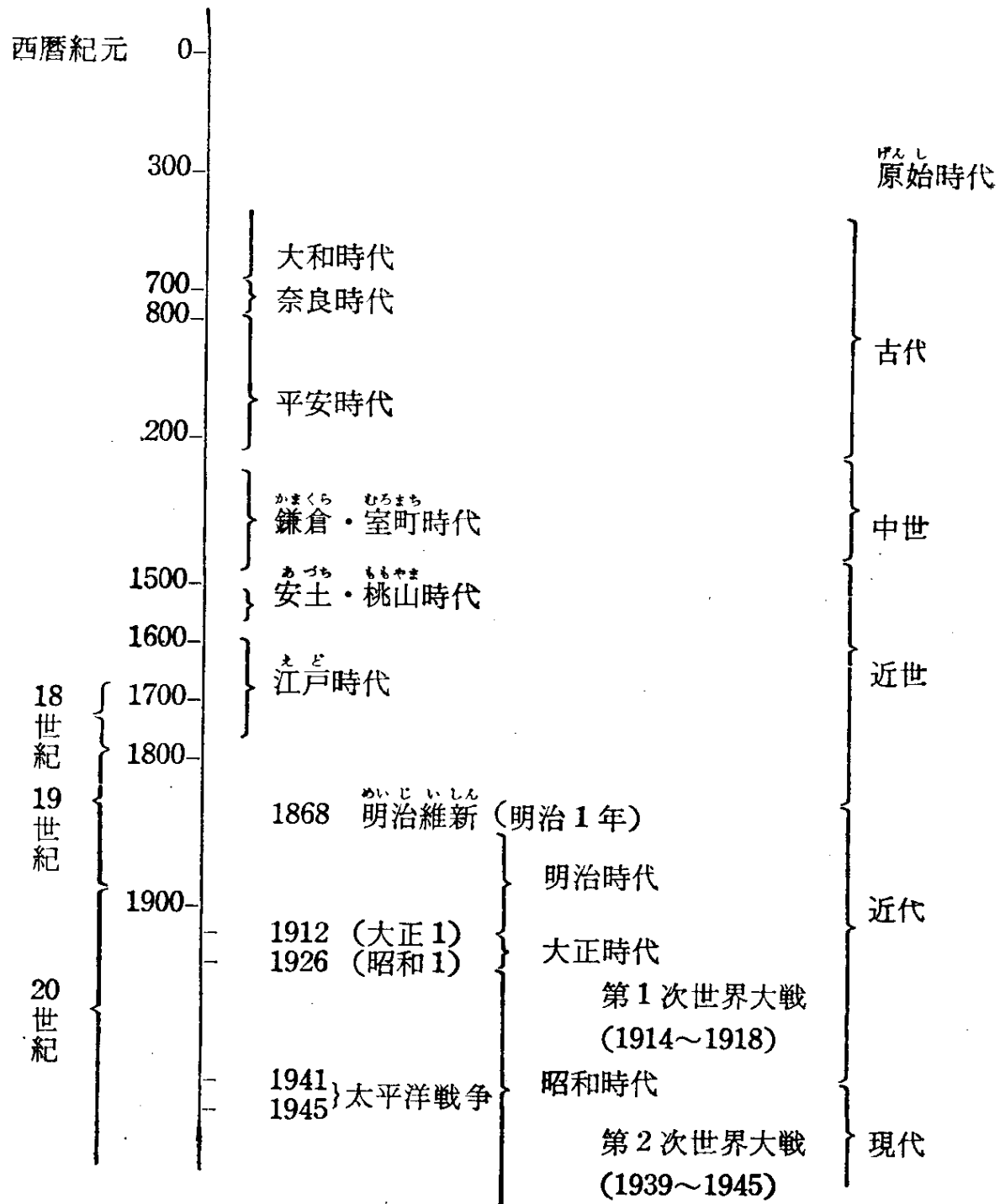
① (他五)

① (他五)

統一

放, 置; 设, 设置

指, 指点, 指出



【注釈】

季節ごとに ごとに 接尾词，意为：每，每次，每每。月ごと／毎月，日ごと／每天

日付などが書いてあります 他动词＋てある 表示动作的结果仍然存在的状态。译作：……着。课文3中也有两处相同的用法。

たり……たり……します たり 接续助词。接在动词的连用形（音便）下，表示动作的交替进行。译作：又……又……； 有时……有时……。

学者によって違います /因学者而异。によって 可表示原因或判断的根据。

……というふうに分ける ふうに 可以看作一个助动词。意义与用法均和「ように」相近，但更口语化，表示：具有某种样子、状态的意思。

〔文型・文法〕 名・分類・定義 〈命名・分类・定义〉

I.

これは、さくらです。／这是櫻花。
あれは、バラだ。／那是薔薇。

- ① あのたてものは、何ですか。／那座建筑物是什么？
- ② （あのたてものは）国会図書館です。〈同定〉／（那座建筑物）是国会图书馆。〈同一认定〉
- ③ それは、月刊誌ですか。／那是月刊杂志吗？
- ④ いいえ、（これは）週刊誌です。〈種類〉／不，这是周刊杂志。〈分类〉

II.

これは、「文学」という月刊誌です。／这本是叫《文学》的月刊杂志。
あれも、月刊誌で、「レコード音楽」といいます。
／那本也是月刊杂志，叫《唱片音乐》。